

認知症初期集中支援チーム の活動について



蓮田市『はすびい』

蓮田市在宅医療介護課

認知症初期集中支援推進事業

認知症初期集中支援推進事業

【目的】 認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

◎ 認知症初期集中支援チーム

◆ 事業内容

支援チームは、地域包括支援センター、**病院等に配置することとし**、認知症専門医の指導の下、複数の専門職が認知症の人やその家族を訪問、観察・評価、家族支援などの**初期の支援を集中的**に行い、自立生活のサポートを行う。

◆ 支援チームの構成員

①以下の要件をすべて満たす者2名以上とする。

- ・医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、作業療法士、介護福祉士、精神保健福祉士等の専門職及び市町村が認めた者
- ・認知症ケア等の実務・相談業務に3年以上の経験がある者
- ・また、国が定める研修を受講し、必要な知識・技能を習得する者

②日本老年学会若しくは日本認知症学会の定める**専門医**又は認知症疾患の鑑別診断等の臨床経験を5年以上有し、**認知症サポート医**である医師1名

◎ 認知症初期集中支援チーム

・平成28年4月から開始（ 蓮田よつば病院に事業委託 ）

◆ 訪問支援対象者

40歳以上で、在宅生活をしている認知症が疑われる人、
又は認知症の人で以下、a、bのうちのいずれかの基準に該当する者

a 医療サービス、介護サービスを受けていない者、または
中断している者で以下のいずれかに該当する者

- ① 認知症疾患の臨床診断を受けていない者
- ② 継続的な医療サービスを受けていない者
- ③ 適切な介護サービスに結びついていない者
- ④ 介護サービスが中断している者

b 医療サービス、介護サービスを受けているが、認知症の
行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している者

認知症初期集中支援チーム 支援の流れ

認知症が疑われる人・
認知症がある人及び
その家族

相談

相談

地域住民、関係機関、
団体等
かかりつけ医 病院
介護支援専門員
社会福祉協議会
介護施設
民生委員 地域住民
その他関係者

情報伝達

地域包括支援センター

依頼

情報伝達

認知症初期集中支援チーム
(蓮田よつば病院内)

①依頼受付

◎情報収集(本人の現病歴、既往歴、
生活情報、家族の情報等)

◎訪問調整

②初回訪問時の支援

・生活上の助言・介護サービス
利用勧奨 ・身体を整えるケア
の助言・家族への心理的支援

③支援方針の検討

◎チーム員会議

④初期集中支援の実施

・医療機関の受診勧奨、支援
・介護サービスの利用勧奨、支援
・生活環境の改善 ・家族支援 等

⑤支援の終了(※概ね6か月)

◎医療や介護等担当者へ引継ぎ

⑥モニタリング

◎その後の状況確認

認知症初期集中支援チームの活動実績

【対象者】

	R4		R5		R6 (R7.1月末現在)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
60代	—	1	—	—	—	—
70代	—	4	2	—	1	1
80代	4	2	2	1	1	3
90代	1	—	—	1	—	1
計	1 2		6		7	

【相談経路】※複数回答あり

	R4	R5	R6 (R7.1月末現在)
本人	—	—	—
配偶者	7	3	2
子	5	1	5
孫	—	—	—
兄弟姉妹	1	1	—
おい・めい	—	—	—
担当ケアマネ・地域包括	1	1	—

認知症初期集中支援チームの活動実績

【支援の目的(理由)】※複数回答あり

	R4	R5	R6※
認知症疾患の臨床診断を受けていない	8	2	7
継続的な医療サービスを受けていない	5	3	3
適切な介護保険サービスに結びついていない	6	1	3
診断されたが介護サービスが中断している	1	—	—
医療・介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため対応に苦慮している	2	1	—

※R6はR7.1月末現在のデータ

認知症初期集中支援チームの活動実績

【支援結果】※複数回答あり ※リハ⇒リハビリテーション

	R4	R5	R6※
専門医療機関受診	4	4	3
訪問看護・訪問リハ利用	—	—	—
訪問介護サービス利用	—	—	—
通所介護・通所リハ・デイケア利用	2	2	1
市社協サービス利用（見守りなど）	—	—	—
包括の見守り訪問継続	3	3	3
入院（内科、精神科）	2	1	—
介護保険施設入所	1	—	—
その他	2	—	—

※R6はR7.1月末現在のデータ

認知症初期集中支援チームの活動実績

【支援回数】

	R4	R5	R6※
1～2回	8	6	7
3回	2	—	—
4回	2	—	—
5回以上	—	—	—

※R6はR7.1月末現在のデータ

【終結までの支援期間】

	R4	R5	R6※
1～2か月	6	4	5
3～4か月	5	2	1
5～6か月	—	—	—
6か月以上	1	—	—

※R6はR7.1月末現在のデータ

認知症初期集中支援の効果

【効果】

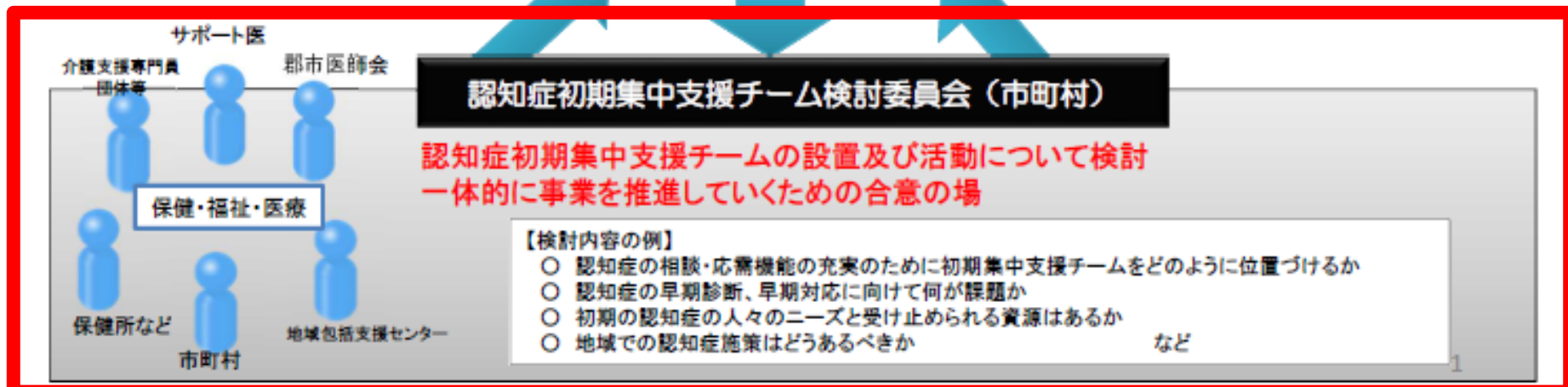
- 早期に対応し、専門医療機関への受診や介護サービス利用等につなげることで、本人の生活や症状が安定する。
- 今まで対応に困っていた家族（介護者）への助言・相談や関係者と一緒に支援方針を考えていくことで、心理的負担の軽減になる。

認知症初期集中支援チーム 検討委員会



蓮田市『はすぴい』

事業の概念図



令和5年度検討委員会からの取り組みについて

「蓮田市の認知症施策はどうあるべきか」について



《現状の蓮田市の取り組み》

- ① 2か月に1回の家族のつどいの開催を継続。
- ② チームオレンジの創設。地域の認知症サポーターの力を借りながら認知症のかたが安心して暮らせる地域づくりに努めている。
- ・ オレンジカフェの開催
- ・ 声かけ訓練
- ・ 認知症サポーターステップアップ講座の開催
- ・ 認知症ケアパスの配布
- ・ 広報誌に認知症関連事業について年1回掲載 など

○今後の課題について

- ・ 本人と話している中で、おかしいと気づくことがあるが、支援や認知症の検査についての提案をしても嫌がる人もいる。
- ・ 認知症初期集中支援チームは、対象者のハードルが高いと感じる。一般受診をしている認知症で来られた患者さんが活用できるようなシステムだといいと感じた。
- ・ 支援者が認知症のかたに関わるストレスはすごくあると思う。それについても考えていかないと、問題は前進しないのではと感じた。

本日ご意見いただきたいこと

認知症初期集中支援事業が入所や入院を意識した事業となっている現状がある。今後は在宅生活の継続についても意識した事業にしていきたい。

認知症のかたを支えるかたが事業を活用し、認知症初期集中支援チームと相談しながら、認知症のかた個人の特性に合わせた支援を実践していきたいと考えている。

各所属、職種等のお立場からご意見お願いいたします。